

社会学部報

- ◇昭和48年3月31日 清水盛光教授定年退職。光吉利之助教授退職。(奈良女子大学教授に就任のため)
- ◇4月1日 青山秀夫教授(社会科学概論), 山路勝彦専任講師(家族社会学) 新任。牧正英助教授, 教授に昇任。調査実習室, 実験室を開設。
- ◇4月25日 研究会総会47年度会計報告, 48年度予算審議, 役員補充, および紀要発行・研究会の運営について協議行われた。
- ◇5月2日 記念植樹昨年5月3日小豆島沖で遭難死した故河野賢治君のご遺族からの寄付金により, 八重桜1本を第1教室南側に植樹。
- ◇5月9日 学部研究会発表者ミツル・カタオカ氏(カリフォルニア大学助教授)「ビデオによる情報交換」
- ◇6月13日 学部研究会発表者杉原方教授「アルコール精神病」, 佐々木薫助教授「サークル活動の集団力学的研究」
- ◇9月26日 学部研究会発表者嶋田津矢子教授「ソ連における家族問題」, 山路勝彦専任講師「日本と中国と沖縄の家族の比較研究のための覚書」
- ◇10月1日 遠藤惣一助教授, 教授に昇任。倉田和四生教授・丹羽春喜教授・杉山貞夫教授, 大学院修士課程指導教授に就任。
- ◇10月24日 学部研究会発表者青山秀夫教授「社会指標および社会報告について」
- ◇10月25日 研究報告会ロバートH. ゲスト教授(米国ダートマス大学組織行動専攻・フォード財団研究員)「単純労働の問題」

内地留学

春名純人助教授 カントとドイツ観念論における宗教哲学の研究, および近代・現代の哲学・神学のキリスト教弁証学的見地よりの歴史的批判的研究を行うため, 昭和48年4月より1カ年間。

外地留学

牧正英教授 米国, ミシガン州立大学での留学を終え昭和48年8月10日帰学。

倉田和四生教授 American Council of Learned Societies からの招聘により, 米国, ニューヨーク州立大学へ1カ年間留学のため, 昭和48年8月29日大阪空港より出発。

森川 甫助教授 フランス政府招聘給費留学生としてパリ・ソルボンヌ大学へ1カ年間留学のため, 昭和48年10月9日東京国際空港より出発。

船本弘毅宗教主事 私学研修福祉会の在学研修員として, スコットランド・セント・アンドリュース大学大学院に1カ年間留学のため, 昭和48年10月1日東京国際空港より出発。

海外出張

田中国夫教授 兵庫県県外活動協議会の講師として, 昭和48年8月11日より16日までハワイへ。

西尾 朗教授 オックスフォード大学夏期セミナー出席ならびに諸国視察のため, 昭和48年7月6日より8月28日まで英国および中近東諸国へ。

丹羽春喜教授 ジョージ・タウン大学戦略・国際問題研究所主催「エネルギー・資源・国際通貨問題および安全保障問題に関する米・欧・日合同会議」に出席のため昭和48年6月25日より7月1日まで米国へ。

杉山貞夫教授 国際人間工学会に出席, および人間工学研究施設視察のため, 昭和48年6月1日より16日まで欧州各国へ。英国 United World College of The Atlantic よりの視察要請と, 英国における外国人学生教育および公開大学等の状況視察・研究のため8月28日より9月8日まで英国へ。

米国 Human Factors Society 大会出席のため, 10月13日より26日まで米国へ。

武田建教授 関西学院大学アメリカン・フットボール部の遠征引卒のため, 昭和48年6月15日より20日まで韓国へ。

宮田満雄助教授 世界 YMCA 同盟総会出席のため, 昭和48年7月11日より8月31日までウガンダ共和国および欧州各国へ。

会員の新著

萬成 博教授「新しい労働者の研究」, 昭和48年5月白桃書房

小関藤一郎教授 ジョルジュ・フリードマン「細分化された労働」(訳書), 昭和48年6月, 川島書店

田中国夫教授「社会心理学入門」, 昭和48年8月, 創元社

学会消息

◇関西社会学会

昭和48年5月19・20の両日第24回大会が甲南大学において開催された。本学から多数会員が参加したが, 第1日の研究発表では真鍋一史講師が「政治的社会化研究の課題」について発表を行い, 第2日の「産業社会学の課題」と題するシンポジウムでは小関藤一郎教授が司会者として総括にあたったほか, 遠藤惣一助教授が討論者と

して参加するなど、本学メンバーの活発な活躍がみられた。

◇日本心理学会

昭和48年9月29日より3日間、日本大学文理学部（会場国立教育会館）で行われた第37回大会に田中国夫教授井上和子教学補佐が出席、次のテーマで共同発表を行った。

「行動の予測因としての態度およびその他の変数に関する研究（Ⅰ）」

◇日本教育心理学会第15回総会

日本教育心理学会第15回総会は、去る10月15, 16, 17日の3日間、福岡教育大学において行われた。本学部からの参加は次の通りであった。

研究発表：佐々木薫助教授「学生集団のグループ・ダイナミックス的研究（Ⅲ）洋弓部の集団特性と生産性との関係について——」

田 創大学院生 田中国夫教授「親の養育態度に影響を及ぼす要因の検討（2）——働らく母親を中心として——」

◇日本グループ・ダイナミックス学会

日本グループ・ダイナミックス学会第21回大会が去る

10月2日東京都中野区の全国勤労青少年会館で開催された（大会委員長早大橋本仁司教授）。本学部からは佐々木薫助教授と山口真人（大学院生）が参加し、次のような研究発表とシンポジウムの話題提供を行った。

研究発表：佐々木薫助教授「集団の生産性と参加規範に関する調査研究」

山口真人、佐々木薫助教授「訓練キャンプの集団力学的分析（Ⅳ）——リーダーシップ機能を中心とした相関分析——」Bond, M.H. 講師、白石大介（大学院生）「The effect of interviewers' body lean and status on the nonverbal behavior of interviewees」

シンポジウム：グループ・ダイナミックスの実践的展開山口真人「社会教育集団とワーカーのリーダーシップについて」（話題提供）

◇日本新聞学会

73年度大会並びに春季研究発表会を、去る6月1, 2の両日追手門学院大学にて開催。個人研究発表のほか、「テレビ研究の20年」のテーマでシンポジウムが開かれ活発な討議が行われた。本学部からは藤原恵教授、津金沢聡広助教授、真鍋一史専任講師が出席した。